

Analytics Backup by QA サーバー要件

株式会社ウェブジョブズ

【重要】導入前の確認

最新のサーバー要件資料は、以下よりダウンロードができます。

<https://ga-backup.com/qa/wp-content/uploads/gabq-tool-server.pdf>

実際に導入される際には、必ず最新のサーバー要件資料をご確認ください。

サーバー環境設定の際には、要件を満たしているかチェックシートを利用してご確認ください。

https://ga-backup.com/qa/wp-content/uploads/gabq_server_checksheet.xlsx

目次

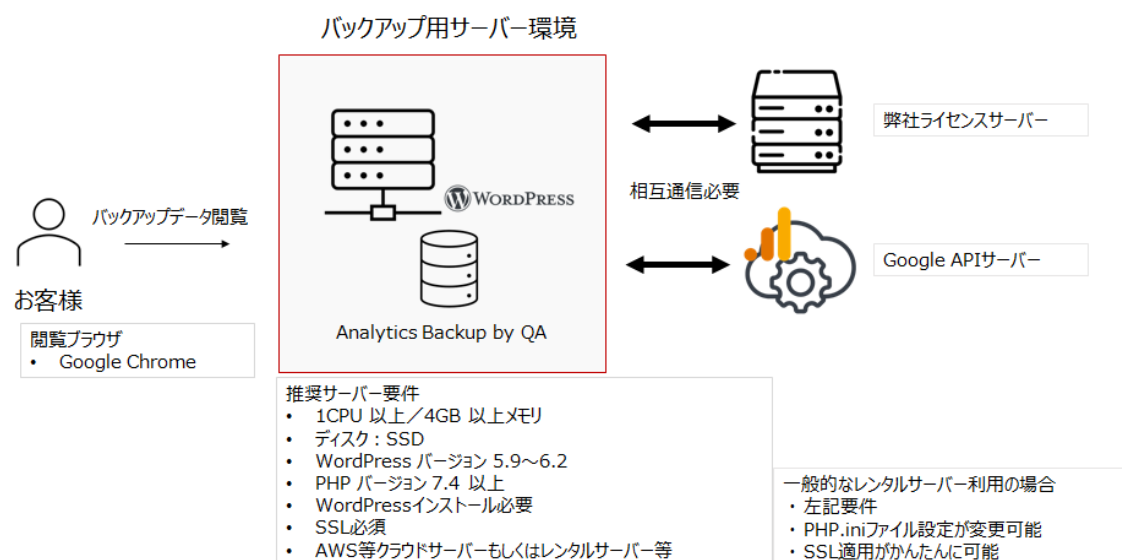
Analytics Backup by QA サーバー要件.....	1
【重要】導入前の確認.....	1
バックアップ用サーバーの役割.....	2
Analytics Backup by QA 構成概要図.....	2
推奨サーバー要件.....	3
推奨サーバースペック.....	3
サーバー環境ソフトウェア等必須要件.....	4
外部との相互通信について.....	4
Google API サーバーとの相互通信許可.....	4
弊社ライセンスサーバーとの相互通信許可.....	4
その他必須要件.....	5
一般的なレンタルサーバーご利用の場合の推奨要件.....	5
サーバー環境の調整.....	6
php の max_execution_time を 240 秒に引き伸ばし.....	6
php の memory_limit を引き上げ.....	6
ダウンロードモードについて.....	7
1 日の取得 URL 数について.....	7
製品仕様および注意点.....	8
お問い合わせ.....	8

バックアップ用サーバーの役割

WordPress 及び Analytics Backup by QA をインストールしたサーバーは、データダウンロード（通信）、データ処理（集計と成型、及び表示）、データ保存を担うことになります。相応の環境が必要です。

データ取得時・集計時にサーバー負荷がかかって不具合が生じることを避けるため、公開している Web サイト用のサーバーとは別のサーバーを使われることを強く推奨します。

Analytics Backup by QA 構成概要図



最大限のパフォーマンスを得るため、1 WordPress・1サーバーを推奨しています。

Analytics Backup by QA では、Google APIと連携して、データをダウンロードします。

利用する Google アナリティクス Reporting API には、（通信を行う）IP アドレス制限が設けられています。

▼Google アナリティクス「API リクエストの制限と割り当て」

<https://developers.google.com/analytics/devguides/reporting/core/v4/limits-quotas?hl=ja>

※サーバーを共通にしてサブドメインやサブディレクトリを用いることで、WordPress を複数インストールすることは可能ですが、多数のWordPressをインストールしてAnalytics Backup by QAを稼働すると、パフォーマンスに大きく影響が出るため、推奨していません。

※WordPress マルチサイト構成にはしないでください。

推奨サーバー要件

Analytics Backup by QA を快適にご利用いただける推奨サーバースペックの目安です。

Ⅰ 推奨サーバースペック

CPU	1CPU 以上
メモリ	4GB 以上
ディスク	SSD データ移行シミュレーター で表示されたファイル数とデータ量が保存できること

CPU

1CPU 以上

CPU については、レポートの表示速度に影響します。

基本的に多くのレンタルサーバーで問題がありませんが、速く表示したい場合は CPU スペックのよいサーバーを選ばれるとよいでしょう。

メモリ

4GB 以上

とくに 1000 ページ以上あるサイトのバックアップで大切なのがメモリです。

チャンネルレポートなど表示行が 10 行程度の場合には大丈夫なのですが、ランディングページレポートで数千行表示するなど、ページごとのデータを集計する時には、大量のメモリを使います。もしメモリが小さいと、メモリエラーが発生し、集計することができません。

▼[メモリの見積もり](#)については

「サーバー環境の調整 (memory_limit)」の項をご参照ください。

ハードディスク

Analytics Backup by QA のデータはファイルに保存されますので、SSD を強く推奨します。

HDD だとかなり遅くなります。またファイル数や容量についてもシミュレーターがあるので、そのデータ量を保存できるサーバーを選んで頂く必要があります。

ディスク容量が足りず、ディスクフルエラーが出てしまった場合にはディスク容量追加後、バックアップの再取得が必要となります。

▼シミュレーターはこちら

<https://ga-backup.com/#simulator>

Ⅰ サーバー環境ソフトウェア等必須要件

WordPress	5.9～6.2
WordPress 関連ミドルウェア	PHP バージョン 7.4 以上 https://make.wordpress.org/core/handbook/references/php-compatibility-and-wordpress-versions/ MySQL バージョン 5.7 以上、または MariaDB バージョン 10.3 以上 ※他サポート対象は WordPress 実行要件に準じます https://ja.wordpress.org/about/requirements/
SSL	Google API 通信には SSL 化されていることが必須

外部との相互通信について

Ⅰ Google API サーバーとの相互通信許可

『バックアップ用サーバー ⇔ Google API サーバー』との間において、ドメイン名（サブドメイン可）を使って通信可能であること。（双方向の通信が必須です。）

具体的な目的

- ・ データのリクエスト 【バックアップ用サーバー→Google API サーバー】
- ・ データのダウンロード 【Google API サーバー→バックアップ用サーバー】

Ⅰ 弊社ライセンスサーバーとの相互通信許可

『バックアップ用サーバー ⇔ 弊社のライセンスサーバー（mem.quarka.org）』との間において、ドメイン名（サブドメイン可）で通信可能であること。（双方向の通信が必須です。）

具体的な目的

- ・ cron の稼働 【弊社ライセンスサーバー→バックアップ用サーバー】
 ※主にデータダウンロードに関係するプログラムを実行します。
 特に wp-cron.php へのアクセスの許可が必要です。
- ・ ライセンス認証 【バックアップ用サーバー⇔弊社ライセンスサーバー】
- ・ Analytics Backup by QA バージョンアップにかかる更新ファイルの配信 【弊社ライセンスサーバー→バックアップ用サーバー】

※AWS など独自サーバーのセキュリティをお使いで、ファイアウォールを使ってアクセス制限をかけるために

弊社ライセンスサーバーの IP アドレスが必要な場合は、以下チェックシートでご確認ください。

https://ga-backup.com/qa/wp-content/uploads/gabq_server_checksheet.xlsx

その他必須要件

- Web サイトサーバーと別のサーバーをご用意ください。
 - サーバー負荷が大きくなり、不具合（Web サイト環境への波及を含む）が生じる可能性があるため、Web サイト用 WordPress との併用は推奨していません。
- ドメイン（サブドメイン可）
 - WordPress をインストールするサーバーのドメイン（サブドメイン可）が必要です。
- ドメイン（サブドメイン可）に SSL が適用されていること
 - Google API を利用するにあたり、SSL 化が必須です。
 - ライセンス認証前に SSL 適用を完了させてください。
（Analytics Backup by QA 利用開始後、途中で SSL 適用ドメインに変わると、ライセンス認証や Google API 連携において、エラーが発生するおそれがあります。）
- Basic 認証がかかっていないこと
 - 通信を行うにあたって Basic 認証がかかっているとエラーが発生するため、Basic 認証をかけないでください。

一般的なレンタルサーバーご利用の場合の推奨要件

- 上記要件に以下追加
- PHP.ini ファイル設定が変更可能
- SSL の適用がかんたんにできること（Let's Encrypt などが利用可能であること）
 - AWS など独自サーバーで、ファイヤウォールを使ってアクセス制限をするなどの場合は、上記の限りではありません。
- ストレージ容量が 100GB 以上

サーバー環境の調整

必要に応じて、バックアップ用サーバーの PHP 設定を調整してください。
php.ini の設定方法は、お使いのサーバーのマニュアル等をご参照ください。

I php の max_execution_time を 240 秒に引き伸ばし

php.ini 設定で max_execution_time を 240 秒にしてください。
(240 秒は目安です。もともとの設定が 240 秒より長い場合は、変更する必要はありません。)

I php の memory_limit を引き上げ

バックアップ取得にあたり PHP メモリを使いますので、メモリ上限の調整が必要です。
「1 日の取得 URL 数 (*)」を基準に、php.ini 設定で memory_limit 値を調整してください。

下記表 I は、設定された「memory_limit 値」に対して Analytics Backup by QA がバックアップできる「1 日の取得 URL 数の目安」です。表を参考に、お使いのサーバーにおいてできる限り安定する値（※^①、^②）で大きな数値（memory_limit 値）に設定してください。

表 I の「1 日の取得 URL 数の目安」には幅がありますが、確実性を重視される場合（⇒「ダウンロードモードについて」参照）、表の「1 日の取得 URL 数の目安」の『最小数』を目安にして memory_limit 値を調整ください。

〔表 I〕

memory_limit 値	1 日の取得 URL 数 (*) の目安
256M 未満	400-1000
256M 以上	1000-3000
512M 以上	2000-5000
1000M 以上	3200-8000
2000M 以上	4000-10000
3500M 以上	10000-30000

※Analytics Backup by QA 専用でサーバーをお使いの時の目安です。

*「1 日の取得 URL 数」に関しては、後述の項をご参照ください。

※^① php.ini で設定をしても、実際にサーバーが提供できるメモリ上限が設定値に満たない場合があります。実際のメモリ上限については、お使いのサーバー会社様にご確認ください。

※^② 使用できるバイト値の短縮表記（G/M）についてもサーバー会社様にご確認ください。

- ☆ ページ数が多く取得 URL 数では足りない場合、有償カスタマイズで対応できる場合もございます。詳しくはお問い合わせください。

Ⅰ ダウンロードモードについて

推奨スペック（メモリが 4GB 以上）未満のサーバーをお使いの場合、Google API 仕様上限の 1 日 3 万 URL を取得するとメモリエラーが発生するため、Analytics Backup by QA は自動的にサーバーのメモリを節約する安定モードで稼働します。

PHP の memory_limit 値に対して取得する URL 数については上記表 I の通りです。サーバーの PHP の memory_limit 値を調整してからバックアップを実行ください。

Analytics Backup by QA はアクセス上位のページからバックアップ（UA からダウンロード）していきます。

UA の「すべてのページ」レポートで調べた URL 件数と比べて、Analytics Backup by QA が PHP の memory_limit 値に対して取得する URL 数のほうが少ない場合、アクセス下位のページ分はバックアップ取得できません。（結果的に、バックアップできるページ数が削減される形になります。）

【例】

UA データの 1 日の取得 URL 数が 10000URL あったとします。

memory_limit 値を 1000M (= 1 G) に設定した場合、Analytics Backup by QA のバックアップ目安は 3200~8000URL となりますので、10000URL のうちアクセス下位のページ分はバックアップ取得できません。

1 日の取得 URL 数について

Analytics Backup by QA は、1 日ごとのデータをバックアップしていきます。

1 日の取得 URL 数については、ユニバーサルアナリティクスの「すべてのページ」レポートに表示される URL 件数で確認することができます。一番アクセスが多い 1 日のデータをご確認ください。

▼確認方法

- ①Google アナリティクスにログイン
- ②該当アナリティクスアカウント > ユニバーサルアナリティクス > (ダウンロード予定の) ビュー を開く
(複数のビューをバックアップ予定の場合は一番アクセスの多いビューをご確認ください。)
- ③(左メニュー) 行動 > サイトコンテンツ > 「すべてのページ」を表示
- ④期間選択で、アクセスが一番多い日付を選択

(見当たらない場合はまず 1 ヶ月～数ヶ月分を表示させ、グラフなどを参考にアクセスが多い日を見つけるとよいかもしれません。)

⑤右下の「表示する行数の『分母（総数）』」= 1 日の取得 URL 数 です。

(例) 下記画像でいうと、1 日の取得 URL 数は「157」となります。

ページ	ページビュー数	ページ読み回数	平均ページ滞在時間	閲覧回数	変換率	ページの価値
1. /	74 (10.66%)	62 (10.23%)	00:01:42	62 (11.95%)	87.10%	83.78%
2. /	45 (6.45%)	43 (7.15%)	00:03:06	43 (8.29%)	90.70%	91.11%
3. /	44 (6.30%)	41 (6.77%)	00:00:51	41 (7.90%)	92.68%	93.18%
4. /	42 (6.02%)	37 (6.17%)	00:04:34	36 (6.94%)	83.33%	83.33%
5. /	36 (5.16%)	31 (5.12%)	00:03:43	27 (5.20%)	64.29%	63.89%
6. /	26 (3.72%)	25 (4.13%)	00:03:36	25 (4.82%)	96.00%	96.15%
7. /	20 (2.87%)	17 (2.81%)	00:00:45	16 (3.08%)	75.00%	70.00%
8. /	18 (2.58%)	15 (2.48%)	00:00:40	14 (2.70%)	71.43%	72.22%
9. /	17 (2.44%)	16 (2.64%)	00:00:07	16 (3.08%)	93.75%	94.12%
10. /	15 (2.15%)	13 (2.15%)	00:01:06	13 (2.50%)	84.62%	86.67%

表示する行数: 10 移動: 1 1-157

製品仕様および注意点

閲覧するブラウザの限界や Google アナリティクス API 制限により、いくつか注意点がございます。事前に「製品仕様・注意点」をご確認いただけますようお願いいたします。

▼Analytics Backup by QA 主な特徴ページ記載 「製品仕様・注意点」

<https://ga-backup.com/feature/>

お問い合わせ

株式会社ウェブジョブズ Analytics Backup by QA サポートチーム

<https://ga-backup.com/contact/>